令和２年１０月２１日発行

長崎大学教育学部附属特別支援学校　学校だより（１０月号）

青空いっぱい

発行責任者：校　長　　田　中　昭　二

長　長所を伸ばそう
大　大好きなことを見つけよう
と　ともだちとチャレンジしよう
く　くらす力をつけよう
し　しごとをする力をつけよう

待ちに待った運動会

１０月４日（日）に運動会を開催しました。例年は運動会を５月に実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、１０月に行っている文化祭を中止し、屋外で行う運動会を実施することにしました。また、例年、御家族の皆様、地域の皆様、来賓の皆様など、本校を御支援くださっているたくさんの皆様の御来場の中、運動会を開催していました。しかし、今年は感染症感染防止のため、午前のみの開催とし、参観は各家庭原則２名までとしました。来場される皆様には、受付での検温、マスク着用と手指消毒の徹底に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。児童生徒についてもテント内ではマスク着用、競演技前後の手指消毒、手拍子や鳴り物による応援と例年と異なる運動会となりましたが、御家族の皆様の熱い応援を受けて、精一杯力を発揮することができていました。

競演技内容の工夫、会場設営の見直しなど、例年と異なる中で試行錯誤の連続となった運動会でしたが、各部それぞれに工夫が見られ、みんなで作り上げた運動会になったように思います。

保護者の皆様、ありがとうございました。ホームページにも運動会の記事を掲載していますので、御覧いただければ幸いです。

中高リレー　「ナイスバトンパス」

教育実習が終わりました

１０月８日（木）から本日２１日（水）までの１０日間、３８名の実習生が教育実習に取り組みました。大学も新型コロナウイルス感染症の影響で前期はオンライン授業になるとともに、教育実習や参加観察実習は延期になりました。そのような中、実習生も教育実習に対しては期待とともに例年と異なる不安感があったことと思います。そのような中でしたが、授業や一日担任、児童生徒とのかかわりに熱心に取り組まれていました。また、今回の実習生は元気で気持ちの良い挨拶ができる皆さんでしたので、学校もさらに明るく元気な雰囲気になったように感じました。

学務執務室から実習生を励ますメッセージが廊下に掲示されました。いくつかのメッセージの中から一つ紹介します。

「ステキな先生って・・・頭で考える量の２倍体を動かして　３倍笑っているような　そんな気がするね」

夏の向日葵のように、笑顔で汗をかいて頑張れる人になってください。教職員一同、皆さんを応援しています。

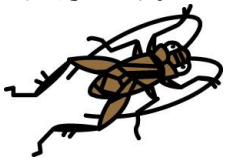
【これからの季節に備えて】

大学から新型コロナウイルス感染拡大防止のための足踏み式ディスペンサーが３台配備されました。また、２階の教材室の体調不良時の控室への整備も完了しました。右の写真は、生徒会中学部長がディスペンサーを実際に使用している様子です。

整備した控室（２階）

皆さんも使ってください

【コオロギ来室】

先日朝、校長室にコオロギがやってきました。捕まえて窓から逃がしました。ふと、外に目をやると、カイヅカイブキを伐採して広々となった掲揚台の周辺が目に留まりました。考えたことは、卒業記念樹を残し、例えばレンガを敷いたり花壇を作ったりして「みんなの庭」が造れたらなということでした。そうすると、虫探しをしたりシートを広げて弁当を食べたりできます。空想ですが、空想も言葉にして表現すると実現するかもしれません。もう一つの空想。運動会で高校生が走っている姿を見ていると「運動場が狭いな」と改めて思いました。運動場を広くするともっとスポーツを楽しめる環境ができます。そのためにはプールの撤去。実現できればと切に思います。

実現にはまだまだ壁が高いですが、思っていることを言葉にすることが、何事も始まりです。